

2020 年度事業報告書

I 事業の実施概要

- (1) 助成事業…………… 2
- (2) 表彰事業～放送文化基金賞の実施と他の賞への参加～ 3
- (3) 制作者フォーラムの開催 …… 5
- (4) 定期刊行物の刊行…………… 5
- (5) ホームページ等による広報 …… 6
- (6) 資産運用検討委員会の開催…………… 6

II 処務の概要

- (1) 役員、評議員等に関する事項…………… 7
- (2) 理事会および評議員会に関する事項 …… 8

III 付属明細書(資料 1～4)

2020 年度事業報告書

I 事業の実施概要

インターネットを経由した番組配信サービスの普及によって、好きな番組を、好きな時に、好きな場所で、好きなデバイスで視聴することが可能になりつつある。その一方で新型コロナウイルス感染症の世界的な流行や頻発する自然災害を巡って不確実な情報が錯綜し、事実に基づく正確な情報を迅速に伝え、生命と暮らしを守る放送の役割があらためて問われている。

放送文化基金は、このように放送をとりまく環境が大きく変化する時代において、放送文化の向上により一層貢献するべく、計画した事業の着実に効果的な実施に努めた。

助成事業においては、放送文化を広くとらえたテーマへの助成、また調査・歴史・理論それぞれのバランスを考慮した助成に努めつつ若手研究者への支援にも取り組んだ。なお、解散した東京ケーブルビジョンから受入れた寄付金を技術開発の助成金の一部に充当している。

表彰事業においては、新型コロナウイルス感染症の感染拡大を考慮し、審査方法の変更を図るとともに、放送文化基金賞贈呈式については従来規模を縮小しての開催となったが、視聴者に感銘を与え、放送文化の発展と向上に寄与した優れた番組の表彰に努めた。

制作者支援活動事業においては、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により「北陸・長野・新潟地区」、「愛知・岐阜・三重地区」、「中国・四国地区」、「九州・沖縄地区」での開催が中止となり、「北海道・東北地区」のみ現地の実行委員会との共催により制作者フォーラムを開催し、系列や地域の枠を超えた交流の場を若手制作者等に提供した。

また、当基金の設立50周年（2024年2月）を見据え、昨年度に引き続き記念事業を実施するための原資を積み立てることとした。さらに新型コロナウイルスの感染防止や働き方改革の一環としてテレワークを実現するためクラウドシステムの導入にも取り組んだ。

（1）助成事業

ア 2020 年度助成

2020 年度助成要項に基づき、技術開発、人文社会・文化の2分野を対象に公募を行った結果、64 件の申請があり、助成審査委員会の審査と理事会の審議を経て、最終的に 29 件、4,264 万円の助成を決定した。

申請および採択結果は、次の通りである。

（単位 万円）

区 分	申 請		採 択	
	件 数	金 額	件 数	金 額
技 術 開 発	12	4,029	6	1,784
人文社会・文化	52	9,589	23	2,480
合 計	64	13,618	29	4,264

（助成対象一覧 資料1）

なお、大幅な金融緩和政策にともない資産運用収入が減少するなかで、助成事業を安定的に継続していくため、2014 年度から5 年間にわたり積み立てた助成費用準備資金から 2,000 万円、また解散した財団法人東京ケーブルビジョンより 2017 年に受け入れた寄付金から 1,000 万円をそれぞれ取崩して、助成金の一部に充当している。

助成金贈呈式は 2021 年 3 月 2 日に開催し、目録贈呈式を実施した。なお、例年助成金贈呈式に先立ち開催している研究報告会および懇親会については新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため中止することとした。

イ 2018 年度助成事業の実施報告

2020 年 10 月～11 月に開催した其々の審査委員会で、2018 年度に助成した技術開発 12 件、人文社会・文化 22 件の実施報告（成果報告・2020 年 6 月末締切）について、一件ずつ内容の評価を行った。

（２）表彰事業～放送文化基金賞の実施と他の賞への参加～

ア 第 46 回放送文化基金賞

2019 年度中に放送された優れた放送番組（番組部門）と、主にその期間に顕著な業績をあげた個人・グループ（個人・グループ部門）を対象に、2020 年 5 月～7 月に開かれた各部門、各分野の専門委員会、審査委員会を経たのち、理事会で計 29 件を決定した。

応募・推薦および表彰結果は次のとおりである。

部 門	領 域	応募・推薦数	表彰数	備 考
番 組 部 門	テレビドキュメンタリー	80	5	最優秀賞 1、優秀賞 1、奨励賞 3
	テレビドラマ	64	4	最優秀賞 1、優秀賞 1、奨励賞 2
	テレビ エンターテインメント	67	4	最優秀賞 1、優秀賞 1、奨励賞 2
	ラジオ	40	3	最優秀賞 1、優秀賞 1、奨励賞 1
	個別分野	—	6	番組部門受賞作品から選定
個人・ グループ部門	放送文化	17	3	—
	放送技術	9	4	—
合 計		277	29	

（受賞一覧 資料 2）

番組部門の賞金は最優秀賞 100 万円、優秀賞 50 万円、各奨励賞 30 万円、個別分野賞 20 万円。また、個人・グループ部門の賞金は 30 万円。

最優秀賞を受賞した番組は、テレビドキュメンタリー番組が『NNN ドキュメント'19「なかったことに、したかった。未成年の性被害①」「なかったことに、できない。性被害②回復への道は」』（日本テレビ放送網）、テレビドラマ番組が『土曜ドラマ「心の傷を癒すということ」』（NHK大阪拠点放送局）、テレビエンターテインメント番組が『奇跡体験！アンビリバボー 12年越しの約束SP』（フジテレビジョン、イースト・エンタテインメント）、ラジオ番組が『TOKYO FM特別番組 ねじれちまった悲しみに』（エフエム東京）である。

個人・グループ部門では、放送文化が3件、放送技術が4件受賞した。放送文化基金賞の贈呈式は、新型コロナウイルス感染症の感染リスクを考慮し、例年より規模を縮小したうえで9月1日にThe Okura Tokyoで開催した。

イ 他の賞への参加

ABU（アジア太平洋放送連合）番組コンクール、第47回「日本賞」教育コンテンツ国際コンクール、「創作ドラマ大賞」に参加した。

ABU番組コンクールの授賞式は、2020年12月10日にオンラインで表彰式が行われ、スポンサーの一員として賞金を贈呈した。

「日本賞」は、2020年11月5日にオンラインで授賞式が行われ、「企画部門」で最優秀企画に選ばれた『拒絶の声』（ケニア共和国）に対して放送文化基金賞を贈呈した。なお、第46回（2019年）の日本賞「企画部門」で放送文化基金賞を受賞した『パムジとブヨ』（南アフリカ共和国）については、「日本賞」開催期間中に完成した番組が上映される予定であったが、南アフリカ共和国国内での新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、番組の完成が遅れている旨の報告があり、制作期間の延長を了承することとした。

日本放送作家協会とNHKが主催する「創作ドラマ大賞」について、第45回「創作テレビドラマ大賞」の贈賞式は2020年11月6日に行われ、大賞の『カントリーロード』（船越 凡平 氏）に賞金50万円を贈呈した。また、第49回「創作ラジオドラマ大賞」では大賞の『手を振る仕事』

(足立 聡氏) に賞金 50 万円を贈呈した。

(表彰結果 資料 3)

(3) 制作者フォーラムの開催

NHK、民放、制作プロダクション等、組織の枠を超えた制作者同士の自由な意見交換や交流の場を設けることを目的に開催している。

2020 年度は、新型コロナウイルス感染症の影響によって「北陸・長野、新潟地区」、「愛知・岐阜・三重地区」、「中国・四国地区」、「九州・沖縄地区」での開催が中止となった結果、「北海道・東北地区」のみでの開催となったが、現地実行委員会と共催して、ミニ番組コンテストと実行委員会の企画による講演会が行われた。

また例年各地区のミニ番組コンテスト入賞者が一堂に会して東京で開催していた全国制作者フォーラムの開催も上記の事情により中止することとなった。

○北日本制作者フォーラム in もりおか（北海道・東北地区）

＜北海道・東北の全民放とNHK 計 40 局＞

日 時 2020 年 10 月 30 日（金）

会 場 プラザおでって内おでってホール／盛岡市

参加者 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、審査員とゲストが会場に集まり、制作者は各地から WEB 上で参加する形式での開催

(4) 定期刊行物の刊行

2020 年 11 月には放送文化基金賞の受賞者インタビューなどを掲載した No. 92 を刊行した。

(5) ホームページ等による広報

ホームページでは事業活動全般について定期更新以外にも随時更新を行い、情報公開と基金のPRに努めた。

<日本語版内容>

助成決定および成果報告／助成対象のデータベース／放送文化基金賞のデータベース／放送文化基金賞の受賞一覧／助成・放送文化基金賞WEB申込等システム／各地区制作者フォーラムの開催予告と結果報告／事業計画・収支予算／事業報告／財務諸表／役員・評議員・審査委員名簿／基金の活動を親しみやすい形で紹介する読み物（読む・楽しむ）等

<英語版内容>

助成の募集案内、助成対象一覧、放送文化基金賞の受賞一覧、日本賞・ABU賞への参加について 等

(6) 資産運用検討委員会の開催

ア 目的等

資産運用の専門性をより向上させるための諮問的機関として設置しており、2020年10月2日と2020年11月30日に開催した。

イ 主なテーマ

- ・国内外の経済政策や金利・為替等の見通し
- ・債券市場や保有債券の分析、資産運用方針の検討等

ウ 構成委員

三宅 邦広 （三井住友DSアセットマネジメント㈱ シニアマネージャー）

森 幸嗣 （三井住友DSアセットマネジメント㈱ シニア・ファンドマネージャー）

高橋 泰洋 (三井住友 DS アセットマネジメント㈱ シニア・エコノミスト)
松原 克美 (放送文化基金 会計顧問・公認会計士)
清水 孝雄 (放送文化基金 監事・TBS 社友)
伊藤 浩 (放送文化基金 監事・日本放送協会経営企画局長)
(幹事)
西村 睦生 (放送文化基金 専務理事)

Ⅱ 処務の概要

(1) 役員、評議員等に関する事項

(1) 役員、評議員等に関する事項

ア 役員の選任等

(ア) 第 27 回評議員会(2020 年 8 月 21 日)において、堀岡 淳氏が新たに監事に就任した。

堀岡 淳 氏(日本放送協会 経営企画局長)

(任期 前任者の残任期間となるため、2021 年 6 月の定時評議員会まで)

なお、平林(田中) 宏暁監事は 2020 年 8 月 21 日をもって退任した。

(イ) 第 28 回評議員会(2020 年 12 月 8 日)において、伊藤 浩氏が新たに監事に就任した。

伊藤 浩 氏(日本放送協会 経営企画局長)

(任期 前任者の残任期間となるため、2021 年 6 月の定時評議員会まで)

なお、堀岡 淳監事は 2020 年 10 月 8 日付で退任した。

イ 評議員の選任

第 27 回評議員会において、評議員の任期が満了となることを受け、定款第 15 条に基づき、評議員 4 名の選任を行なった。

高橋 正美 氏（日本放送協会経営委員会委員・監査委員）	再任
前田 晃伸 氏（日本放送協会会長）	新任
吉田 喜重 氏（映画監督）	再任
若泉 久朗 氏（日本放送協会理事）	新任

（任期 高橋 正美氏、前田 晃伸氏、吉田 喜重氏が 2020 年 8 月 21 日から 2024 年 6 月の定時評議員会まで。若泉 久朗氏が 2020 年 8 月 21 日から前任者の残任期間である 2023 年 6 月の定時評議員会まで）

なお、木田 幸紀評議員は 2020 年 8 月 21 日をもって退任した。

2021 年 3 月 31 日現在の役員、評議員は資料のとおりである。

（役員、評議員一覧 資料 4）

（２）理事会および評議員会に関する事項

ア 理事会

開催年月日	主 な 議 案
2020. 7. 28 (第 55 回)	・ 2019 年度事業報告および決算について ・ 第 27 回評議員会（書面による決議・報告の省略）について ・ 評議員候補者の推薦について ・ 役員候補者の推薦について ・ 審査委員会規程の改定について

2020.7.28 (第55回)	・ 第46回「放送文化基金賞」表彰対象について ・ 委員会委員の委嘱について ・ 評議員の退任について ・ 2020年度「助成要項」について ・ 技術開発審査委員会 専門委員の委嘱について
2020.10.9 (第56回)	・ 第28回評議員会の開催について ・ 助成審査委員会委員の委嘱について ・ 役員の退任について ・ 2020年度事業活動収支施行見込について
2020.12.8 (第57回)	・ 役員候補者の推薦について ・ 育児休業規程および介護休業規程の改定について ・ 2021年度予算編成の考え方について ・ 2021年度資産運用方針について ・ 第47回放送文化基金賞「表彰実施細則」について
2021.2.17 (第58回)	・ 第29回評議員会の開催について ・ 2020年度助成の実施について ・ 2021年度事業計画および収支予算の編成について ・ 放送文化基金賞 審査委員会専門委員の委嘱について ・ 2020年度収支決算見込みにについて 【一部の理事と監事はオンライン参加】

イ 評議員会

開催年月日	主 な 議 事
2020.8.21 (第 27 回)	・ 2019 年度事業報告及び決算について ・ 評議員の選任について ・ 役員の選任について ・ 評議員の退任について ・ 2020 年度助成の実施について ・ 2021 年度事業計画及び収支予算について ・ 第 46 回「放送文化基金賞」選考結果について 【一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第 194 条・第 195 条による決議・報告の省略を適用】
2020.12.8 (第 28 回)	・ 役員（監事）の選任について ・ 2020 年度収支見通しおよび 2021 年度予算編成方針について 【一部の評議員はオンライン参加】

Ⅲ 付属明細書（資料 1～4）